

ふれあい つながり かわら版

合同行事における異校種間連携

―合同運動会の視察より―

5月下旬から、6月の初旬にかけて、市内の多くの小学校と一部の中学校において、運動会(体育大会)が実施されます。その中には異校種間連携を進め、保幼・小・中が合同で運動会を実施しているブロックもあります。

本号では、令和元年5月25日(土)に視察した二つの合同運動会の様子を紹介します。

■豊富幼・小・中合同体育発表会

『一致団結〜豊富でつくる新たな歴史〜』

来年度に義務教育学校としての開校を控えた豊富小学校と豊富中学校は、校舎の改装工事の関係もあり、本年度から合同実施としました。

プログラムを例年から大きく変更する必要があるので、「普段の学習の成果を発揮する場としての体育発表会」とコンセプトを明確にして、発達段階に応じたラジオ体操を二回行うなど、見ごたえがある特色ある構成になっていました。

当日までの準備期間は短く、限られた時間の中でしたが、担当職員を中心に、随時、係レベルでの打合せを進め、当日は幼・小・中の教職員の連携が光り、非常に円滑に進行されました。

生徒会長の「豊富幼小中が一致団結し、新しい

姫路市教育委員会
学校指導課
小中一貫教育推進係
(079)221-2120



歴史を作る一日にしよう!」との挨拶の通り、園児、児童、生徒が生き生きとプログラムによ



開会前、そろいのポロシャツで円陣を組み、「豊富、オー!」と気合を入れる幼小中教職員

つては一緒に活動する姿がたくさん見られました。そして、何より一致団結していたのは幼・小・中の教職員であつたと思います。各プログラムの準備等、お互いに協力して行う姿が随所で見られ、「先生方の雰囲気为本当に良い」との保護者の声も聞かえてきました。

■白鷺小中学校スポーツフェスティバル

『笑顔!協力!全力!みんなで魅せる!白鷺の力』

白鷺小中学校では、平成21年度より、小中合同の「スポーツフェスティバル」を実施しています。

当時からの様子を知る教職員は、「当初こそ、中の足並みを揃えることに苦労したが、今や、この行事を通して、教職員が9年間を見通した指導のあり方を学び、協働実践するよい機会になっている」と評価しています。

今回も、玉入れにおいて1年生に9年生が玉を渡したり、投げ方を教えたりする様子や、9年生を1・2年生が一生懸命応援する姿など、異学年



全校生による白鷺っ子体操



1・2・9年生による玉入れ

が手を携え、一緒に演技する美しい光景が随所に見られました。この子供たちの姿こそ、小学部、中学部教職員の普段からの協働実践による成果だと感じました。

また、中学部生徒が、演技補助など下級生の世話をする事で自己有用感を感じたり、その姿を見ている小学部児童が「自分も大きくなったら、お兄さんやお姉さんのようにになりたい」と目標を持てたりしていることが、今までの感想等からも明らかになっているそうです。

今回紹介した以外にも、例えば、坊勢ブロックの「島中の人が集まる地域のお祭り」のような雰囲気合同運動会もあります。姫路市と合併するずっと以前から合同で行われており、小中9年間、就学前も入れれば、11年以上のつながりと子供の成長を、教職員のみならず、地域ぐるみで見守る機会となっています。

このように、小中の教職員が協働し、ねらいを持って児童生徒と一緒に活動させる合同行事は、ブロックの規模によりできる事は異なりますが、様々な教育効果が期待できるものだと感じました。